

別記様式（第3条関係）

事務事業評価調査書（26年度）

No.	2 2		作成日	平成26年9月27日	
総合計画	章	2	年 度	平成25年度事業	
	項	1	課等名及び係名	農林課 林務係	
	節	1	記入者職氏名	主事 高村喜尚	

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
事務事業名	農作物被害防護柵設置補助事業			
事業概要	対象	一般町民		
	目的	イノシシ等の有害鳥獣による農作物の被害を防ぐための防護柵等の設置費用の補助		
	実施内容	防護柵等の購入費に対して半額（消費税除く）を補助する。上限は個人20,000円、共同100,000円。		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	農作物被害防護柵設置補助
	款	5	農林水産業費		事業名 (施策名)	
	項	1	農業費			
	目	3	農業振興費			
	事業名	農作物被害防護柵設置費			根拠法令	

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

事業期間	開始	終了				
	年度	年度				
年度	事業費（決算・予算）	財源内訳（単位：千円）				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22年度実績	2,337					2,337
23年度実績	1,576					1,576
24年度実績	2,800					2,800
25年度実績	4,196					4,196
26年度当初	3,000					3,000

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
25年度分						

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
状況説明	イノシシ等の被害による農作物への被害は年々増加傾向にある。		

V 問題点の概要

問題点	耕作放棄地の拡大にともなう有害鳥獣等による被害の増加。
-----	-----------------------------

VI 成果指標

成果指標名	単位	25年度		26年度		27年度		28年度		対28年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
防護柵設置補助金	千円	4,196	4,196		5,000		5,000		5,000	83.9%
指標に表われない効果										

【事務事業の評価】

◎一次評価（担当課においての評価）

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか。 ○対象・意図を見直す余地はあるか。 ○町が実施又は関与すべき目的であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	耕作放棄地の拡大防止の観点から有効である
有効性	○成果向上の余地があるか。 ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか。 ○目的が達成されたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	耕作放棄地の拡大防止の観点から有効である
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か。 ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか。 ○他の事務事業との統合は可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	耕作放棄地の拡大防止の観点から有効である
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか。 ○負担者（納税者）の理解は得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	農地を所有している町民が対象なので公平性は保てる

II 総合評価

今後の方向性	2								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【総合評価】※理由、具体策及び今後の課題等を記入してください。</p> <p>耕作放棄地の増加を防ぐために効果的である。また、農家所得の安定にもつながると思われるので継続して補助行う必要がある。</p>									
<p>【所属長意見】</p> <p>イノシシ等の被害を受ける農作物が年々増加しているため補助の継続が必要と思われる。</p>									

◎二次評価（事務事業評価委員会による評価）

今後の方向性	2
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了
4 見直し（実施規模を縮小する）	
【具体的内容】 一次評価のとおり、引き続き事業に取り組むこと。	
【備考】	